

令和の子育てを考える

12月8日 西地区公民館で
地域と保護者46名で行いました

西地区の子どもたちを、健やかに賢く、たくましく育てたい。そのために地域と保護者ができることは何かを考えたい。それが実現されました。協議の時間は50分。あっという間の時間でした。温かで、それでいて熱い思いがふれあって意見が交わされる時間でした。金比良小・光海中学校校区にとって大切な一日となりました。ご参加のみなさま、ありがとうございました。



★協議テーマ「めざす子供の姿」
「西地区での子育て」
「西地区でできること」
地域・保護者の方からのご意見(一部)を紹介します。



- 年に1回こういう機会がほしい。親が関われない子どもたちを地域や他の保護者で見ていくようにしたい。
- 子どもが少ない分、よその地域から来た子どもにも登下校時に声をかけてくれる。保護者としてはありがたい。
- 3世代での子育てを大切にしたい。
- 子どもの話を聞いてくれる大人が必要。大人の考えを一方向的に押しつけている。子どもからSOSのサインがあるかも。
- 見守りー地域の人がしている。よく知っていない人もいる。時代によって変えてはいけないことがある。あいさつから顔見知り。
- 行事の呼びかけが難しい。集まりが悪い。工夫が必要。子育てに余裕がない。SOSの出しやすい地域の雰囲気をつくりたい。
- 「一人で生きていく・一人でできる」ために甘やかし過ぎない。ルールを決める。(家庭・学校・地域) みんなで声をかけ合う。
- こんぴらっ子教室で昔遊びができてありがたい。

西地区の地域の方や保護者は子どもたちをととても大切に思っています。激動の時代、予測困難な時代と言われる今だからこそ、

『寄ってたかって西地区の子どもを育てる』

—それを実現していただいた一日でした。

きっと子どもたちは、この温かな愛情を感じ取っていくはずです。いえ、もう感じていることでしょう。子どもたちのその姿を見えるようにするのが、学校の使命だと感じました。頑張っていきます。

たくさんの意見・考えがありました。さらに詳しくは、小中一貫便りでお知らせします。

税が1人の小中学時代に
1000万円使われる。
1億円はその10人分

W受賞！！

○租税教育推進校 佐世保税務署長賞

○全国納税貯蓄組合連合会 感謝状



1億円の重さ

どちらも、これまでの光海中学校の社会科授業で取り組んできたことを高く評価していただいたものです。特に、佐世保税務署長からいただいた賞では、税に関する教育に熱心であることをほめていただきました。過去にも、



税に関する作文を書くために取材に税務署を訪れたり、家庭で給料明細を使って話をしたことを題材にしたりした生徒もいたそうです。素晴らしいですね。

テレビ佐世保からの取材を受けました。取材の雰囲気やカメラマン・レポーターの仕事を見ることができました。

☆新しい風が吹く～新生徒会役員選挙 12月4日・11日

とてもさわやかな風が光海中学校を吹き抜けていきました。新しいことが始まる予感がします。そして、現生徒会役員の任期満了にともなう選挙が4日・11日と2回に分けて行われました。1月から新しい光海中学校生徒会がスタートします。立ち会い演説会では、誰一人ひるむことなく、立派で清々しい態度でした。選挙です。当選・落選があるものの、一人一人のチャレンジ精神に感動したできごとでした。これもまた、子どもたちの全力・前進です。



1人1プランターの花を育てています。

小さいのちを大切にします。

卒業式の会場を彩る花を育てる。

この2つの目標で、2階のピロティで育てています。可憐な花が、校内を明るくさわやかにしています。

